

「研究大学強化促進事業」中間評価 進捗状況概要 大阪大学

目的

総長のリーダーシップのもと、大阪大学は創立100周年(2031年)に世界屈指の研究型総合大学になることを目指す。

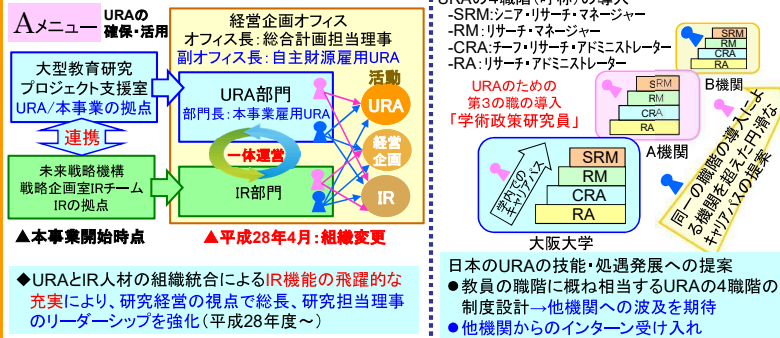
研究マネジメント人材群を確保・活用
→「こと」による支援

集中的な研究資源配分
→「もの」による支援

- 研究の更なる国際化と若手教員の育成を進め、女性・外国人教員を増やすなど学問の発展の源である多様性を高める
- 世界から人が集まる魅力的な研究環境を実現する

国内トップレベルの研究力をさらに伸ばし、世界で人類社会に貢献する

これまでの実績・取組状況



今後5年間の将来構想

大阪大学の目標
世界屈指のイノベティブな大学へ
社会との共創により、「知」と「人材」と「資金」の好循環を構築

本事業後半5年間の研究力強化戦略

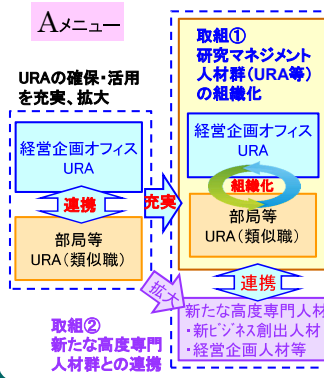
戦略1：新学術領域の開拓による世界的研究拠点の形成、優れた人材の育成・獲得

基盤

戦略2：研究力強化を支える高度専門人材の確保・活用(IR機能強化を含む)

戦略3：研究力強化に向けた国際ネットワーク、ガバナンス、財務基盤

本事業で推進する取組



Bメニュー 研究環境改革の取組を、大阪大学の目標の下で再編・整理して明確化

1. 研究経営と戦略策定の支援
2. 研究環境の国際化と外国人研究者の支援
3. 若手・女性研究者の支援
4. 競争的資金の獲得支援

国際ジョイントラボ 平成25年 15 → 29年 57 → 33年 80
外国人教員 平成24年 4% → 29年 7% → 34年 10%
女性教員 平成24年 12% → 29年 14.9% → 34年 20%

WPIメニュー

- WPIアカデミー拠点に選ばれた免疫学フロンティア研究センターの研究力強化の支援
- 支援に関して得られた知見の横展開の推進

Bメニュー 研究環境改革 本補助事業の効果検証に基づく、事業の確実な実施(進捗状況)

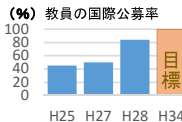
	(累計)	平成27年8月	平成29年6月	(累計)	平成27年8月	平成29年6月
○研究情報の国際発信						
本学主催の国際会議開催		29	56		423	841
HP作成、Researchmap活用支援		21	41		27	105
○研究の更なる国際化						
クロス・アポイントメント		45	104		25	31
研究者の交流(派遣・受入)		51	61		14	39
国際ジョイントラボ		36	57			
事務職員の海外研修		95	119			

平成27年度フォローアップにおける指摘への対応

(改善を要する点)

教員・研究員の公募は、国際公募を基本とする方向で進めつつあるが、その学内定着に向け、一層の努力を期待したい

- ①国際公募原則実施の文書発出(人事担当理事名)
- ②学内調査実施(人事課と共同)による要望をもとにURAが英文公募要領の作成と審査のスクリーニングの支援を開始



中間評価結果

評点区分: S

全体に対する所見

積極的に組織強化を行い、URA の効果的な活用による具体的な成果が創出されている。今後の研究力強化に向けた国内のモデル大学となることが期待できる優れた取組であり、高く評価できる。

当初構想・計画の進捗状況に対する所見

IR を活用した組織改革の下、URA の「第3の職」としての位置付け、キャリアパスの明確化等、本事業の目的に沿った事業が展開されており、計画された成果が着実に創出されている。

今後5年間の将来構想に対する所見

事業終了後の活動継続を担保するための財源措置として学内資源の再配分による循環システム構築の検討、加えて URA が全国的に定着することを視野に入れた取組の計画等、特筆すべき構想となっている。